

第4部

安全・安心



第1章 交通事故・火災・救急

- 64 救急出場状況
- 65 火災の発生状況
- 66 自然災害による被害状況
- 68 交通事故の発生状況



第2章 犯罪・少年非行

- 69 刑法犯の認知件数と検挙率
- 70 特殊詐欺被害状況
- 71 ストーカー、配偶者からの暴力事案等の認知件数
- 72 少年非行と少年の福祉を害する犯罪の現状





救急出場状況

救急出場件数は前年比16.7%増の86,353件



2022(R4)年の救急出場件数は、前年に比べ12,326件(16.7%)増加し、86,353件となりました。

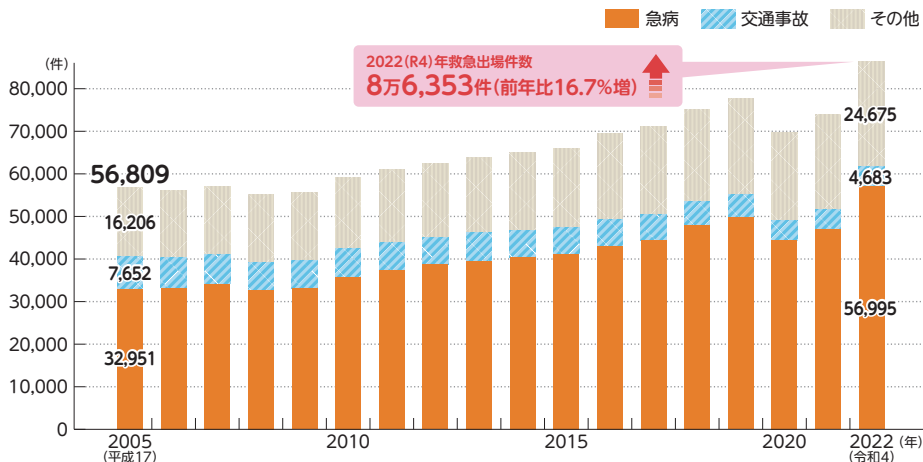
2022(R4)年の救急出場件数を事故種別にみると、前年と比べて急病が10,032件増加し56,995件、交通事故が35件増加し4,683件となりました。

また、急病が2022(R4)年の救急出場件数全体の66.0%を占めています。

救急出場件数を2005(H17)年の56,809件と比べると、29,544件(52.0%)増加しています。

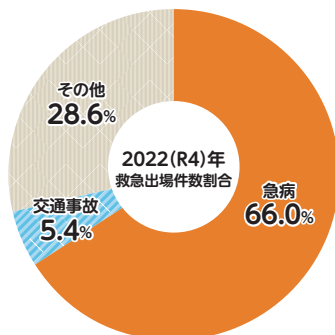
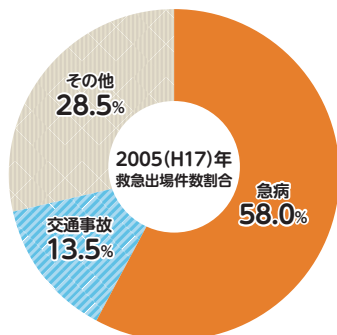
救急出場件数の推移

資料：県消防救急課「消防年報」



2005(H17)年・2022(R4)年の救急出場件数割合

資料：県消防救急課「消防年報」



※四捨五入の関係で端数において一致しない場合がある。



火災の発生状況

出火件数、死傷者数、損害額はいずれも前年に比べ増加



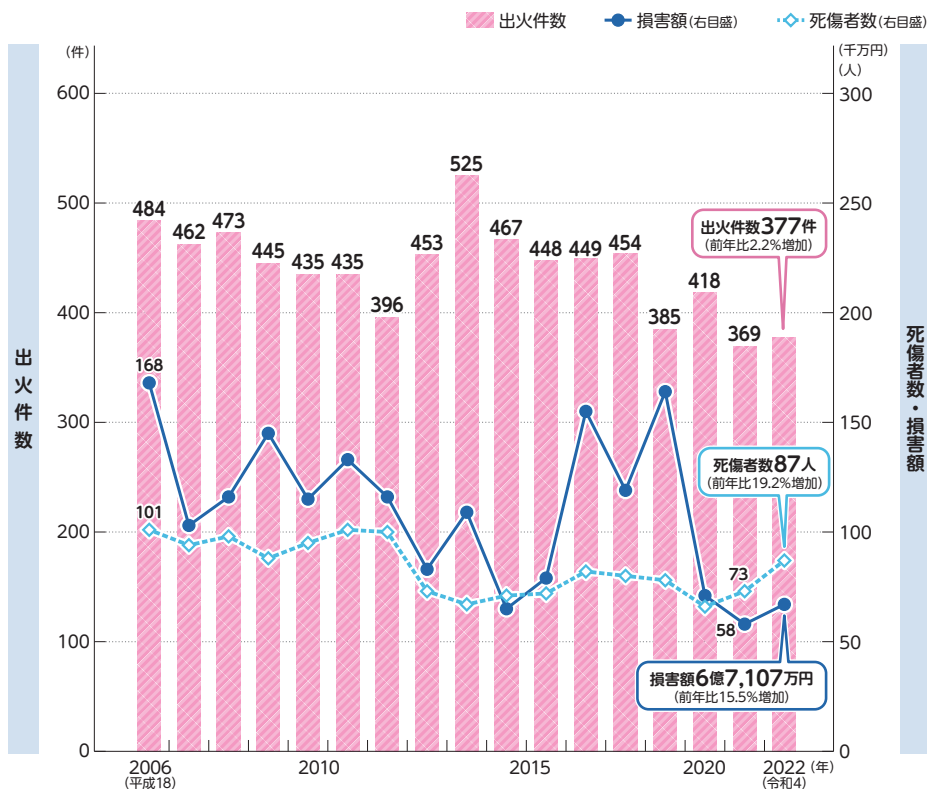
2022(R4)年の出火件数は377件、火災による死傷者数は87人、損害額は6億7,107万円となりました。

2022(R4)年の火災発生状況は、前年に比べ、出火件数は8件(2.2%)増加の377件、死傷者数は14人(19.2%)増加の87人、損害額は9,013万円(15.5%)増加の6億7,107万円となりました。

また、2006(H18)年と比べると、出火件数は484件から107件(22.1%)の減少、死傷者数は101人から14人(13.9%)の減少、損害額は16億8,250万円から10億1,144万円(60.1%)の減少となっています。

火災発生状況の推移

資料：県消防救急課「消防年報」





自然災害による被害状況

2022(R4)年の自然災害による住家被害は、86棟



2022(R4)の住家被害は86棟(うち床上及び床下浸水82棟)で、全国平均(1,781棟)を下回っています。

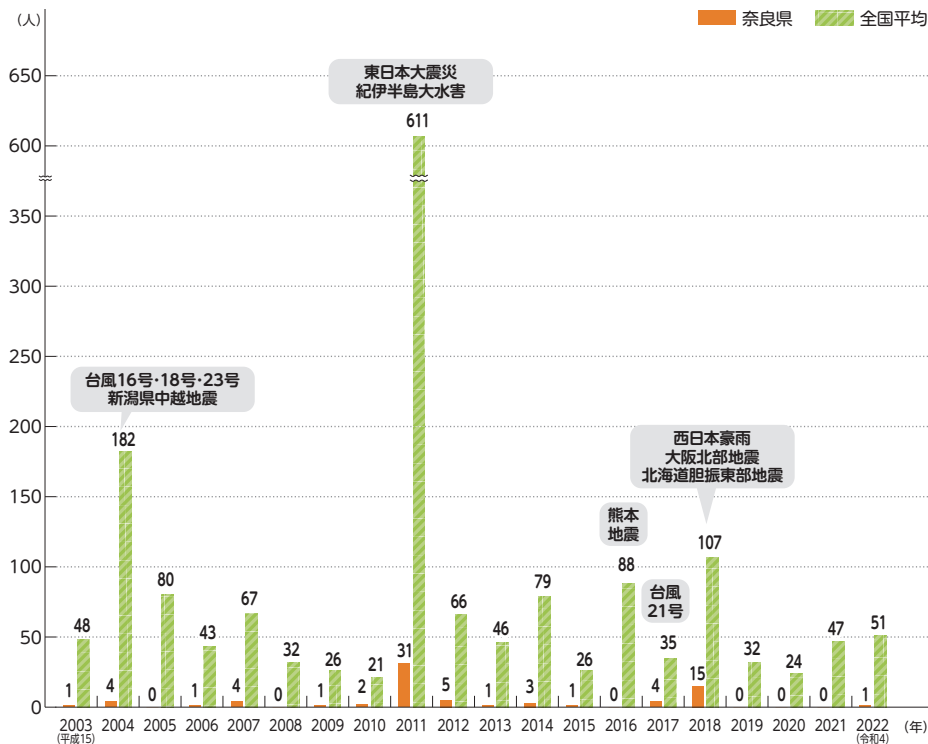
2011(H23)年の紀伊半島大水害、2017(H29)年の台風21号、2018(H30)年の西日本豪雨など大きな風水害のあった年は、県内でも人的被害及び住家被害が多くなっています。

また、過去70年間の有感地震回数(震度1以上)は1,159回、うち震度4以上は21回で、全国平均(5,881.1回、102.5回)を下回っています。

- 自然災害…暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り、その他の異常な自然現象をいう。
- 人的被害(人)…死者、行方不明者、負傷者(重傷・軽傷)の計。
- 住家被害(棟)…全壊、半壊、一部損壊および浸水(床上・床下)の計。

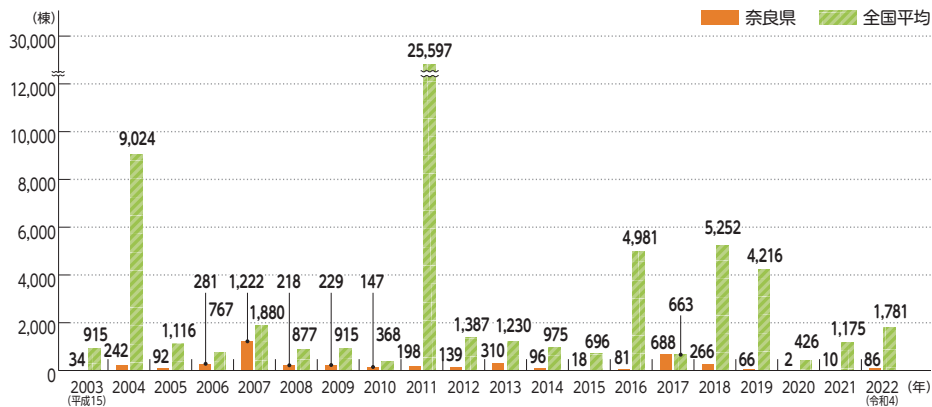
自然災害による人的被害の推移 2003(H15)～2022(R4)年(20年間)

資料：国土交通省「災害統計」



自然災害による住家被害の推移 2003(H15)～2022(R4)年(20年間)

資料：国土交通省「災害統計」



過去70年間の有感地震回数 1955(S30)～2024(R6)年

資料：気象庁「震度データベース」

順位	都道府県	総回数 (震度1以上)	震度4以上
1	東京	27,532	555
2	茨城	12,842	356
3	北海道	12,390	331
4	福島	12,279	325
5	宮城	11,398	266
6	岩手	11,916	233
7	栃木	8,082	207
8	千葉	8,218	207
⋮			
25	和歌山	4,837	40
⋮			
31	兵庫	2,006	29

※震度4以上の有感地震回数で並びかえた順位。

順位	都道府県	総回数 (震度1以上)	震度4以上
⋮			
36	京都	1,376	24
⋮			
40	奈良	1,159	21
41	徳島	977	19
42	大阪	1,001	18
43	富山	733	16
44	滋賀	836	15
45	佐賀	663	15
46	香川	738	14
47	岡山	1,234	12
全国平均		5,881.1	102.5

県内に被害をもたらした主な地震

資料：奈良地方気象台ホームページより一部加工

年 月 日	地域(名称)	規模(M)	県内の主な被害	
			人的被害(人)	住家被害(棟)
1936. 2. 21(S11)	(河内大和地震)	6.4	死者1、負傷7	全壊2
1944.12. 7(S19)	(東南海地震)	7.9	死者3、負傷17	全壊89
1946.12.21(S21)	(南海地震)	8.0	負傷13	全壊37
1952. 7. 18(S27)	(吉野地震)	6.7	死者3、負傷6	－
1995. 1. 17(H7)	(平成7年兵庫県南部地震)	7.3	負傷12	－
2004. 9. 5(H16)	紀伊半島南東沖	7.4	負傷6	－
2018. 6. 18(H30)	大阪府北部	6.1	軽傷4	一部損壊27

M=マグニチュード



交通事故の発生状況

交通事故(人身事故)の発生件数、死者数は減少、負傷者数は増加



2023(R5)年中の交通事故(人身事故)は、発生件数2,600件、負傷者数3,165人、死者数26人でした。

前年に比べ、発生件数は3件(▲0.1%)減少、負傷者数は73人(2.4%)増加、死者数は3人(▲10.3%)減少しています。

なお、死者数26人のうち、65歳以上の高齢者が18人と69.2%を占め、全国平均(54.7%)を上回っています。

交通事故(人身事故)発生状況の推移

資料：県警察本部交通企画課「交通年鑑」

